



# 学校だより

平成20年5月1日

横浜市立洋光台第三小学校

5月号

校長 長部 泉

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

## どらえもん と ひみつのアッコちゃん と

さわやかな風が吹き渡る若葉の頃となりました。富士を望む丘の恵まれた環境と、PTA保護者、地域の皆さんの学校をサポートし子どもたちを見守ろうという気持ちをいつも感じて、教職員は元気いっぱい子どもたちと教育活動を進めています。

そんな応援を受けた本校の、今年度の教育活動の方針についてお話しする学校説明会を5月2日に開催します。たくさんの皆さんの来校をお待ちしております。

のび太とジャイアンとスネ夫としずかちゃんは、どらえもんの道具を借りて冒険を始めます。ひみつのアッコちゃんの冒険はコンパクトの鏡から。仲良しのモコちゃんと、元気な大将に、トラネコの背中でおしゃぶりをくわえる弟の少将、カン吉、ガンモにチカ子もいてとてもにぎやか。映画「3丁目の夕日」で描かれた頃は、街角でそんな子どもたちの集団が駆けまわっていました。子どもたちは遊びの中で人と人とのつながり方、時にはケンカやさりげない手加減まで自然と学んでいたのでしょう。難しく言うとコミュニケーション力や社会性。

街角から駆けまわる子ども集団の姿が消え、人と関わるのが苦手な若者たちが話題になるとき、かつて地域社会にあった子どもたちの社会性の基礎を育てる役割を、学校が担うようになりました。たとえば本校では教育目標「自分のよさを発見し、ともに高め合って生きる子どもを育てます。」にむけた取り組みの一つである縦割り班活動。学年や学級の活動がのび太ジャイアンしずかちゃんの同学年仲間の活動なら、いろんな学年年齢のアッコちゃんたちのように6年生から1年生までまじったグループでの活動が縦割り班活動です。6年生の兄さん姉さんはどうしたって1年生の面倒をみねばなりません。同学年の中では比べられたり競わされたり視線の中ですが、縦割り班では6年生はいつもだれだってリーダー。ありがとう、よくやったね。1年生はちょっと甘えながらもいつかあの6年生のように！と思います。自分が認められ、役に立ったという思いは、いつか人と人との新しい関係性を築こうとするときの勇気の源です。

さて、先日の第1回の縦割り活動は顔合わせとグループの名前決めでした。あいうえお、、、それぞれ識別用ひらがながあり、それを頭にしたグループの名前を考えます。「あ」や「い」グループはすんなり「あさがお」「いるか」と名前が決まります。でも「に」とか「ぬ」はちょっと苦労。なかなかよい言葉が見つかりません。

「ぬ、ぬ、ぬ、、、ぬりかべグループ!？」一部に熱烈な支持はありましたが、校長「提案」はあえなく否決。結局、子どもたちが決めた名は「ぬくもりグループ」。

あったかいぬくもり、期待してますよ!

校長 長部 泉